



福が生まれる星まつり

～第54回福生七夕まつりフォトメモリー～



七夕まつりの期間中は、様々なイベントが開催されました。

まず、初日の5日木曜日は、特別審査員にMEGUMIさんを迎えての第2回七夕織姫コンテスト・オープニングセレモニーで幕開けしました。

このオープニングセレモニーで七夕イメージキャラクター「たっけー☆☆」のお披露目と原作者の田中栄三さん（立川市）の表彰式が行われました。コンテストは厳正な審査の結果織姫には伊藤唯さん(福生市/写真中央)、審査員特別賞に河波智子さん(小平市/写真左)、川野美遥さん(福生市/写真右)が選ばれました。そして沖縄ライブ(エイサー太鼓と島唄)にあでやかなサンパレード。

翌6日金曜日は、みこし・山車パレードの後、七夕まつりの花形ともいべき各種団体ごと揃いの浴衣で約1,700人が七夕飾りで埋め尽くされた各通りを踊り歩く福生民踊パレードで賑やかに盛りあがりました。

そして、7日・8日の土曜日・日曜日は、七夕ギャラクシーストリートを焼き鳥、焼きそば、ゲームなどなど、約100店の市民模擬店が軒を並べ威勢の良い売り子の声に行列ができました。また、福生第一小学校の6年生が丹精込めて育てたアサガオ1,200鉢を販売し例年どおり好調な売れ行きでした。

毎年好評のオープニングステージのバンド演奏や子どもたちのダンスパフォーマンス。お子様に大人気のヒーロー仮面ライダーブレイドショーなどが催される青年会議所ひろばをはじめ7箇所の会場等で、紹介しきれないほど盛りだくさんのイベントが催されました。

盛大な市民まつり、福生の夏の一大イベント「福生七夕まつり」来年もどうぞよろしくお願いたします。



織姫コンテスト



たっけー表彰式



市民模擬店



一心あさがお市



第一小学校特設ステージ

オープニング

やすらぎ
いきいき
輝く街
福生



福生市の街を上げてのビック・イベント第54回福生七夕まつりが8月5日から8日までの4日間、華やかに開催されました。
福生駅前を中心に色とりどりの竹飾りが商店街を埋め尽くし、街は七夕まつり一色に染まりました。
この福生七夕まつりは、昭和26年に商店街の振興を目的に始められました。七夕まつりの来場者数はここ数年飛躍的に増加しています。それは市民による手づくりのまつりに変わったからだと言われていますが、その言葉に裏付けられるかのように今年も猛暑の中、39万8千7百人の方々も福生市を訪れ、七夕飾りをはじめ、様々なイベントを楽しみました。
多くのボランティアの皆さんに支えられ、毎年約40万人の出入で賑わう盛大な市民のまつりとして定着して、福生の夏の風物詩となっています。



民踊パレード



みこし・山車パレード



たっけーも踊りました

まちの話題



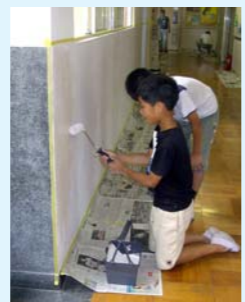
7月17日(土)・18日(日)、福生第五小学校で学校の呼びかけに応じて集まった保護者の皆さんにより、工事をしていた一部箇所を除き、全校の廊下の壁が塗り替えられました。土曜日・日曜日とあって、お父さんの参加もあり、保護者と一緒に来た児童も含め、延べ50人を超える参加者が作業を行いました。廊下の下半分の薄いピンクの部分がきれいに塗り替えられました。作業を始めると参加者は一心不乱。全部終わらなければまた次回にと思っていたのが、階段部分も含め、作業可能な

箇所はすべて完成しました。

翌日は終業式。学校に来た子どもたちはきれいになった廊下にびっくり。ペンキ塗りに参加した子どもたちはちょっと誇らしげな表情をしていたようです。

保護者同士の交流が進むことも目的の一つでした。子どもたちも楽しんでやってくれてよかったと松島純生教頭先生。

福生第五小学校では今年度から「五小チャレンジプラン」と名づけ、保護者・地域の方に学校ボランティアになってもらうという取り組みを始め、登録が集まっています。今後本格的に活動していきます。



米空軍音楽隊パレード



交通少年団の演奏



消防少年団鼓笛隊の演奏